

# 公益社団法人松阪青年会議所

## 2019年度 所信

副理事長 浅井 俊一

### 《所信》

我々が愛するまちは、豊かな資源に大きな可能性を秘めており、海山に囲まれた自然の恵み、郷土が生んだ偉人、観光施設や年間を通して開催される祭事、名所旧跡といった今ある観光資源も含め、先人が醸成を繰り返し築き上げられた財産を、今やらなければならない課題をまちのひとびととともに向き合うことで、今の時代に応じた新たな価値を生み出す魅力溢れるまちへと発展していきます。

まちに潜在する郷土愛とは反して中部、関西圏の主要都市へ就労と所得を求めた若者の流出などの市民や行政からまちに対する課題があるなかで、まちの他団体にも多くの課題解決を行えるまちの未来に向けた提案があります。その鮮度の高い情報収集に努めていくなかで青年会議所が行政との橋渡し役を担い、官民共同して協議を重ねてまいります。その結果からさらにミクロな視点で検証と需要を把握することで最大限にまちの課題を抽出し、解決策を打ち出す事業の展開ができます。魅力に溢れ、住みたい地域の創出に官民との連携強化を図るべきであります。

郷土愛を意識付けるには「大切なものと喜ぶもの」を学ぶ少年期であります。目指すべき「大切」なことを、右往左往しながらでも「喜ぶ」ことを積む過程において、子どもたちの身近に居る大人たちがまちの事を語り、立ち居振る舞いを示し、その背中で郷土をおもうところを子どもたちに伝えます。そうした持続可能なまちづくり運動員の育成が、我々JAYCEEが担う責務でもあります。

むすびに、今しかできないこと、自分にしかできないことがある、だから今自分がやらなければならない。それが我々JAYCEEの運命であります。ともにやりましょう。